

## マイブック推進事業のアンケート結果について

### 1 児童並びに保護者アンケートから

【質問1】マイブッククーポンを使用した月（複数回答 可）

6月	7月	8月	3か月計	使用していない
24%	40%	36%	90%	10%

※参考 参加書店からの使用済みクーポン回収率

44%	20%	26%	90%
-----	-----	-----	-----

【質問2】マイブッククーポンで購入した本の冊数

1冊	2冊	3冊	4冊	5冊以上
12%	51%	27%	9%	1%

【質問3】マイブッククーポンで購入した本の種類（回答が多かったもの）

- 「こころのふしぎ なぜ? どうして? (村山哲哉)」
- 「100かいだてのいえ」シリーズ
- 「10分で読める本」シリーズ
- 「赤毛のアン」
- 「ぼくら」シリーズ (宗田理)
- 「チョコレート戦争」(大石真)
- 「日本の歴史」「戦国武将人物伝」等歴史に関するシリーズ
- アニメや映画の絵本・ノベライズ (アナと雪の女王 かいけつゾロリ 他)
- ファンタジー (黒魔女さんシリーズ・ハリーポッターシリーズ)

【質問4】マイブッククーポンを使用しなかった理由

- ア 使用できる期間を知らなかった・・・ 8%
- イ 使用することを忘れた・・・・・・・・ 60%
- ウ 使用する前に紛失した・・・・・・・・ 17%
- エ 配付されたことを知らなかった・・・ 4%
- オ その他・・・・・・・・ 11%
- 半分使って残りを使う機会がなかったから
- 半分使って紛失(洗濯)してしまったから
- 欲しい本が買えなかったから
- 夏休みに転入してきて使う機会がなかったから
- 使い方が分からなかったから
- 使い方がめんどうだったから

【質問5】マイブック推進事業についての意見・感想等

①今年度同様に継続を希望する・・・・・・・・ 74%

【理由】ア いつもは図書館から借りていたが、自分だけの本を買うことができてうれしかったから

- イ 本選びについて子どもと話をすることができたから
- ウ 児童書は思いの外高価で、普段は買うことを我慢させていたから

②継続を希望するが要望あり・・・25%

- 【内容】
- ア 購入できる本の種類を明確にしてほしい・・・12%
  - イ 配付対象を拡大してほしい（中学生等）・・・10%
  - ウ 購入できる書店を増やしてほしい・・・2%
  - エ クーポンを使用できる期間を長くしてほしい・・・13%
  - オ おつりが出るなど使いやすくしてほしい・・・6%

③不要・・・1%

- 【理由】
- ア 学校図書館の本を充実させてほしい
  - イ 市立図書館を充実させるべき
  - ウ 給食費や教材費に使ってほしい 他

## 2 学校アンケートから

【質問1】 どのようにして教職員間の共通理解を図ったか（複数回答 可）

- ア 職員会議で実施要項を活用・・・56%
- イ 職員朝会で実施要項を活用・・・0%
- ウ 特別に時間を設定し、実施要項等を活用・・・44%
- エ 実施要項等の配付のみ・・・0%

【質問2】 どのようにして児童や保護者に対する周知を図ったか（複数回答 可）

- ア 学校だよりや学年（学級）だより・・・49%
- イ 保護者参観日を活用・・・30%
- ウ 学校のホームページを活用・・・4%
- エ 図書室でマイブック推進事業に関する企画展示・・・2%
- オ その他（運動会等で保護者に呼びかけ）・・・15%

【質問3】 どのように児童に配付したか

- ア 受領票を作成し、説明文書等と共に配付し受領印をもらった 9校
- イ 封筒にクーポンを入れて配付し、保護者の受領印をもらった 31校
- ウ 集金日に集金袋にクーポンを入れて配付した 5校
- エ 学校公開日に保護者に説明し直接配付した 1校
- オ 全校朝会で児童に説明し直接配付した 1校

【質問4】 マイブッククーポンで購入した本をどのように活用したか（複数回答 可）

- ア 全校一斉読書で活用した・・・33%
- イ 国語の時間に紹介があった・・・19%
- ウ 人気の高かった本を学校図書館用に購入し、展示した・・・9%
- エ 紹介カードを児童に書かせて掲示した・・・29%
- オ その他・・・9%
  - ・マイブッククーポンで買った本をもたせて写真を撮って掲示した（ホームページで紹介した学校もあり）
  - ・図書委員が全校朝会で自分が買った本を紹介し、その後写真撮影・掲示した
  - ・マイブッククーポンと税金の関係について、社会科の授業で取り上げた

- 【質問5】 児童にはどのような様子が見られたか（複数回答 可）
- ア 以前より読書について話す児童が増えた・・・・・・・・・・ 37%
  - イ 保護者と書店にいったことが楽しい思い出になっている・ 51%
  - ウ 保護者と書店に行けなかった児童が寂しそうにしている・ 1%
  - エ 特に目立った変化はない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7%
  - オ その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4%

### 3 参加書店アンケートから（参加17書店）

【質問1】 今年度マイブック推進事業に参加を決めた理由（複数回答 可）

- ・直接本を選ぶ楽しさを知ってほしいと考えたため 2店
- ・本や読書のおもしろさを知ってほしいと考えたため 3店
- ・事業の趣旨に賛同したため 2店
- ・売り上げの増加が期待できると考えたため 3店
- ・来店を高めることができると考えたため 3店
- ・市内全ての書店が参加と聞いたため 3店
- ・地域に協力したいと考えたため 1店
- ・客層に小中学生が多いため 1店
- ・本社として参加を決めたため 2店

【質問2】 マイブッククーポンの使用期間（6月～8月の3か月間）について

- ア 適切である 13店
- イ 使用期間を長くした方が良い 0店
- ウ 使用期間を短くした方が良い 4店

【質問3】 マイブッククーポンの使用開始時期（6/1）について

- ア 適切である 14店
- イ もっと早い時期の方が良い 0店
- ウ もっと遅い時期の方が良い 3店

【質問4】 マイブック推進事業に参加して良かったこと（複数回答 可）

- ・楽しそうに本を選んでもらった。 1店
- ・来店する客層が広がった 7店
- ・親子で本を選ぶお客様が増えた 3店
- ・新しい本との出会いの場を提供できた 1店
- ・売り上げが伸びた 3店
- ・他の商品の売り上げが伸びた 1店
- ・店の雰囲気明るくなった 2店
- ・子どもと本の話ができた 2店
- ・児童向け書籍の構成を見直すことができた 1店

【質問5】 マイブック推進事業に参加して困ったこと等（複数回答 可）

- ・保護者が「教育事業」ということを意識していない 2店
- ・クーポンの使い方や趣旨が徹底されておらず、対応に苦慮した 8店
- ・参考図書があまり売れなかった 1店
- ・事務手数料が不透明 1店
- ・事業についての説明会がなく始まったこと 1店
- ・おつりが出るようにしてほしい 1店
- ・中学生にも配付したらどうか 1店

【質問6】 市教育委員会に対する要望等（複数回答 可）

- |   |                                 |     |
|---|---------------------------------|-----|
| ア | マイブッククーポンが使える本の種類をもっとはっきりさせてほしい | 6店  |
| イ | クーポンの使い方について、各学校にもっと指導してほしい     | 12店 |
| ウ | 参考図書が古いので、子どもの実態に合ったものを選んでほしい   | 8店  |
| エ | 参考図書は選定しなくてもよい                  | 2店  |

【質問7】 参加書店による小学生にお薦めの本

- 「それでも僕は夢を見る（水野敬也）」  
「ふたりのイーダ（松谷みよ子）」  
「こころのふしぎ なぜ？ どうして？（村山哲哉）」  
「いのちをいただく みいちゃんがお肉になる日（内田美智子）」  
「ニュー世界の伝記シリーズ（学研）」  
「理系アナ榊太一の生物部な毎日（榊太一）」  
「なきすぎてはいけない（内田麟太郎）」  
「ぼくらシリーズ（宗田理）」  
「ふたりはともだち（アーノルド・ローベル）」  
「おおきな木（シェル・シルバスタイン）」  
「どんぐりむらシリーズ（なかやみわ）」  
「100万回生きたねこ（佐野洋子）」

【質問8】 来年度のこの事業への参加について

- |   |              |     |
|---|--------------|-----|
| ア | 参加したいと考えている  | 14店 |
| イ | 諸事情により参加できない | 0店  |
| ウ | 現在のところ検討中である | 3店  |

## 4 各アンケート結果を受けての考察

○成果

- ・多くの児童が「新しい自分の本」を手に入れることができ、書店で本を購入する経験を楽しんでいる。
- ・保護者からは、子どもが読書に親しむようになったことだけでなく、経済的に助かったという意見が多く寄せられた。
- ・各学校の回答からは、児童がこれまでも増して読書に親しむようになったことや、この事業を通して読書について様々な施策を展開したことが伝わった。
- ・参加書店の回答からは、売り上げだけではなく書店としての企画等の様々な可能性が広がったことが伝わった。

●課題

- ・事業実施までの期間が短かったため、趣旨等が周知されない面があった。
- ・それぞれの立場からの要望が多く出された。

◎課題に対する手立て

- ・校長会等を通してアンケート結果を周知し、来年度の実施に向けての準備を依頼する。
- ・広報等を通してアンケート結果を広く市民に周知する。
- ・保護者や各学校、書店等の意見を生かしながら、より児童の立場で事業が展開されるよう、周知方法や購入できる本の種類等を検討していきたい。

## 自動車破損事故に係る損害賠償額の専決処分について

1. 発生日時 平成 26 年 9 月 2 日(火) 午後 3 時ごろ
2. 発生場所 熊野堂遺跡発掘現場駐車場（八戸市長根 2 丁目 1 2 - 1 0）
3. 事故の概要 発掘現場駐車場において、作業員が両手ハンドル式刈払い機を用いて草刈り作業中、駐車場に敷かれていた砕石が飛び、約 3 m 前方に駐車中の車両のリアガラスに接触した。その結果、リアガラスにヒビが生じ、全面が破損した。
4. 損害賠償額 113,647 円
5. 専決処分月日 平成 26 年 10 月 31 日 処分第 43 号
6. 示談成立月日 平成 26 年 11 月 4 日

# 事故現場位置図



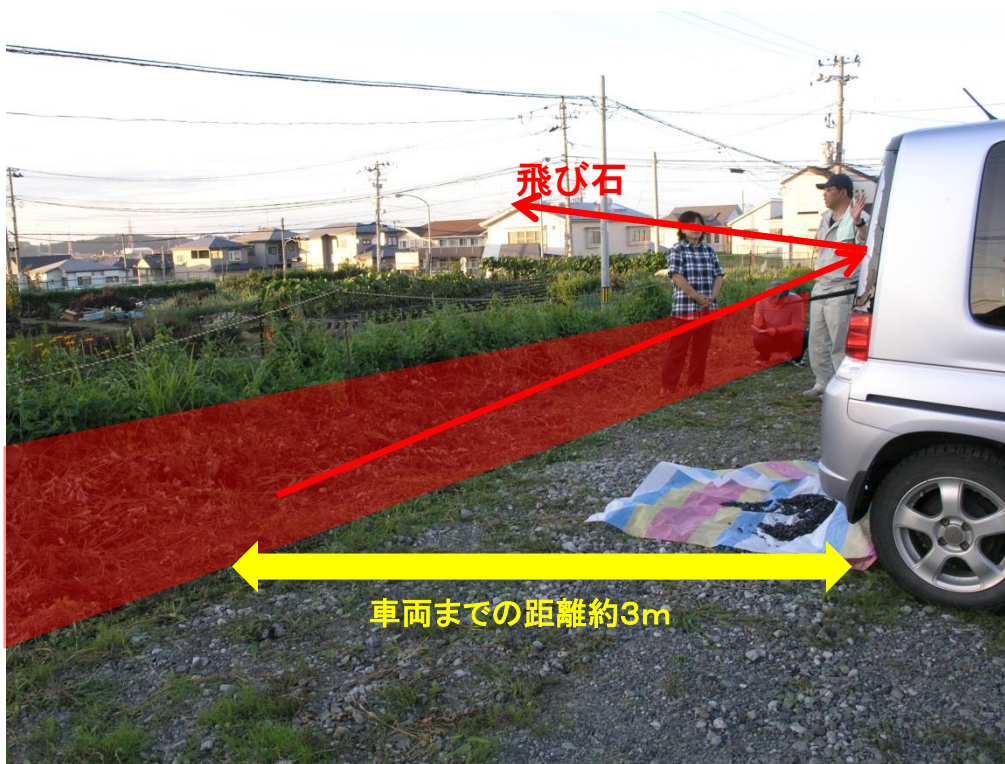
縮尺 1 / 1,500 | 45m



駐車場草刈対象地(赤色範囲)



被害車両駐車状況



事故状況：草刈り対象地から約3m前方の駐車車両に飛び石が当たる



破損した後部ガラス